

発行にあたって

会代表・大津町議会議員 佐藤真二

2月10日の町議選で皆様のご支援を頂き、議会に送り出させていただきました。
紙上での御礼の言葉は公選法で禁止されておりますのでここに記すことはできません。
そのかわりというわけではありませんが、年4回の定例議会の後に必ずこの会報誌を発行して、議会や町政のことをきちんとお知らせしていくことで皆様の応援にお応えしていきたいと考えています。そして、それが本当の協働の実現が近づく歩みとなることを願い、誌名を「協働の足音」としたいと思います。

限られた紙面ですので、十分な、分かりやすい報告とはいかない場合もあると思いますが、先にブログも開設しましたので、紙面では伝えきれない詳しいことはブログでも補足させていただきます。是非、ブログもご覧下さい。



一般質問

3月議会で以下の質問をしました。

行政評価について

行政評価は町の事業を町民に説明する重要なものなのに・・・

【質問主旨】

振興総合計画の後期基本計画から導入されている行政評価(基本事業評価)について、評価の精度が極めて低く目的に適ったものになっていないと指摘します。評価の手法と公開の方法について見直しと改善が必要ではないでしょうか？

待機児童対策について

待機児童対策に必要なのは、正しい予測に基づく合理的な計画

【質問主旨】

待機児童対策について、町の努力が場当たりの、抜本的な対策にはなっていないと指摘します。現状と将来を見据え、潜在的待機児童にも対応する保育サービスの供給計画を策定することを提案しますが、計画の立案と実行に取り組む考えはありませんか？

九州北部豪雨災害後の検証について

災害時の町の対応を見直すという約束はどうなった？

【質問主旨】

9月の定例議会一般質問で、町の対応の不備について「これらの点について十分に検証し、今後防災体制の見直しを行っていきたい」と回答されていますが、この「検証と見直し」の結果はいつ公表実施される予定ですか？

町執行部の答弁や再質問は、正確を期すため、議事録が提示された後、ブログに掲載します。